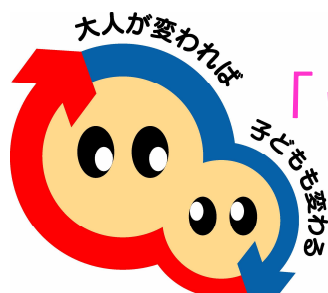




大分の青少年



「大人が変われば子どもも変わる」県民運動

子どもは社会(あなた)を映す鏡です

大分県青少年育成県民会議と市長村民会議では、大人がお手本を示す「大人が変われば子どもも変わる県民運動」に取り組んでいます。新型コロナウイルスの影響で街頭での積極的な活動が難しい状況でしたが、今年は、コロナ前の活動が行えるようになってきました。県民会議では、7月第三金曜日（青少年の日）に、4年ぶりとなるあいさつ運動を大分駅前で実施し、あいさつ運動を通して子ども達を地域で守り育てるという意識の高揚を図りました。



大分駅前でのあいさつ運動

青少年の非行・被害防止全国強調月間

7月は『青少年の非行・被害防止全国強調月間』です。県では、あいさつ運動のほか、県下一斉立入調査など青少年の有害環境の調査を実施しました。

各市町村民会議でも大会や総会、あいさつ運動、補導活動など、青少年の非行・被害防止のため、コロナ前と変わらない活動を実施しました。



あいさつ運動（西部振興局）



推進大会（豊後高田市）



県庁舎への横断幕の掲示

大分県青少年育成県民会議では、県民運動の啓発や広報に力をいれ、青少年の健全育成を進めています。その一環として県民会議加盟団体及び市町村民会議の青少年育成の取組をFacebookや広報誌などを通して広く県民に広報していきます。広報を希望される団体は、活動の様子がわかる画像やコメントを事務局 (oita.patrol@gmail.com) までご送付ください。

発行：大分県青少年育成県民会議・大分県
(大分県大分市大手町3-1-1 大分県生活環境部私学振興・青少年課内TEL097-506-3076)

ホームページ：<http://.pref.oita.jp/soshiki/13255/seisyounenikuseigigyo.html>

Facebook：[大分県青少年育成県民会議](#) [検索](#) Email:oita.patrol@gmail.com



少年の主張

大分県大会

第45回を迎えた今大会には、県内23校から1,487作品の応募がありました。8月31日、くすまちメルサンホールで開催された大分県大会では、第1次、第2次審査を経て選ばれた10人の中学生がそれぞれ日常や学校生活の中で体験したこと、感じたことを発表しました。



大会発表者作品	最優秀賞	優良賞・共感賞
	「好きなことにまっすぐに」 平井 さくら 玖珠町立くす星翔中学校3年	Be myself 佐藤 有咲 臼杵市立南中学校3年
	優秀賞	優良賞
	「当たり前」は「当たり前」? 今口 花怜 竹田市立竹田中学校3年 その一粒に感謝を込めて 北口 愛 別府市立北部中学校3年	嫌われ者 安東 セア 宇佐市立宇佐中学校2年 「人によって態度を変える」 伊藤 凜 別府市立別府西中学校3年 後悔するか、挑戦するか 黒木 心晴 大分県立大分豊府中学校3年 「継がれる命」 高橋 遼 九重町立このえ緑陽中学校2年 「ありがとう」と伝えたくて 山村 隆文 竹田市立緑ヶ丘中学校3年
優良賞・大分県教育庁賞		
言葉の力 前田 葵衣 宇佐市立長洲中学校3年		

作品紹介 第45回「少年の主張大分県大会」最優秀賞

「好きなことにまっすぐに」

玖珠町立くす星翔中学校3年
平井 さくら



舞台上立つからこそ感じられる、照明を一身に浴びたときの気持ち、お客さんから感じる私への視線、舞台の上から見える景色、そんな光景や気持ちに魅せられて、私は舞台上に立ち続けています。

私は小学校5年生からミュージカルを習っていて、毎年3月、公演という名の発表会に挑んでいます。

今年の演目は、「日本初の少女車掌物語」。この物語は玖珠町出身の「村上あやめ」さんの生涯をミュージカルにしたものです。

私はずっと演じてみたかった主演、村上あやめさん役をやっとの思いで得ることができました。

しかし今回は、1日に2公演。ダブルキャストでもう一人同じ役の人がいました。彼女は私よりもミュージカルの経験も豊富でダンスもうまく、私にとっては大きなプレッシャーです。

ハードな練習が続く中、支えてくれたのは私の弟でした。弟は私の変化にすぐに気がつきます。うまくいかなかった日、私は帰りの車の中でばれないように泣いていました。すると「俺も今日うまくいかんやった。でも姉ちゃん、あそこよかったよね。」とってくれるのです。

今思えば私がミュージカルを始めたのも1歳年下の弟がきっかけです。負けたくないと思って頑張ってたのも弟の存在。うまくいかなかったとき励まし合うのも弟。

弟はやると決めたらとことんやって、人が見ていないところでも努力する、私のよきライバルでもあり、憧れでもあります。

そして、もう一人の私を支えてくれた存在、それは私が演じた「村上あやめ」さんでした。

村上あやめさんは、日本で初めて女性でバスの車掌になった人です。女性の立場が社会的に低かった当時、村上さんの苦労は並大抵ではありません。しかし、自分の信じた道を他人からどう言われようとひたすら努力して歩みを進めたあやめさん。そんな彼女を演じる中で、私は自分とあやめさんとを重ね合わせていました。

ソロで歌うとき、私はあやめさんと自分への思いをその一瞬に込めます。スポットライトが当たり、客席全体が見える。

一人ひとりの視線が私に集まる。

「夜明けの海に日が昇り

希望の鐘がなりひびく

なみだをふいて走り出そう

私は村上あやめ。

どんな辛いことがあっても、他人から何と言われても

最後まであきらめず努力する。そんな私を見てください。

あやめさんを演じることを通して、引込み思案だった私自身が変わった瞬間でした。

公演当日、思うようにいかなかった部分も含めて、あの時の自分にできる最大限の力を出せました。

初めて泣くほど緊張するということを経験し、どれが正解かわからずスランプに陥り、もうやめたいとさえ思ったりと、本当にさまざまな経験をしました。

しかし、これら全てがミュージカルを通して自分自身を変えかけるかけがえのない経験となりました。

今、また新しい公演に向けてオーディションが始まりました。

私はやっぱりミュージカルが好きです。舞台上に立った人にしか感じられないあの感じが好きです。そして、舞台上に立っている自分が大好きです。

これからも好きなことにまっすぐに取り組んでいきます。

大分県大会の様子



中学生・高校生 ICTカンファレンス2023 in 大分

7月29日（土）、中高生がネットやスマホ、ICTの安心、安全な利活用について自ら考え、議論する「中高生ICTカンファレンス2023 in 大分」が、J:COMホルトホール大分で行われました。

今年のカンファレンスには県内15校から47名の中高生が参加し、「今、学生が考えるデジタルシティズンシップとはーデジタルウェルビーイングな社会を目指してー」をテーマに、学校の垣根を越えてグループ討議を行いました。

討議の後には、各グループから

- ・経験者（中高生）が経験を活かして次世代（小学生）に、ICTの利用方法を教える
- ・安全安心のために位置情報アプリを積極的に活用する
- ・身障者とICTが共存できる社会を作る

といった様々な提言が発表され、大人も考えさせられる有意義な大会となりました。

また、審査の結果、大分舞鶴高校2年の杉村駿太さんが県代表に選ばれ、11月3日に東京で開催予定の全国大会に出場することになりました。



大会ポスター



大分県代表生徒 杉村駿太さん



グループ討議の様子



提言作成の様子



提言発表の様子

インターネット利用に関する「家庭のルール」募集!!



大分県のネット利用実態調査結果では、

「インターネット利用の低年齢化」
「フィルタリング利用率の低下」

が見られます。

大分県青少年育成県民会議では、子どもたちが安全に安心してインターネットを利用できるように、県民会議加盟団体や市町村民会議の皆さんが決めている「家庭のルール」を募集し、それを紹介することで、広く啓発を図っていきたく考えています。

皆さんの「家庭のルール」
是非QRコードから応募
をお願いします!!



～子どもたちのためにルール作りが必要です～

「まもめーる」に登録しましょう

安心して暮らすことができる、より安全な大分県を実現するために、皆さんの身近で発生する

- ・子どもへの声かけ事案等の不審者情報
- ・車上ねらい等が連続発生した際の防犯情報
- ・重大交通事故等など交通関係情報
- ・その他、迷子などの手配

などの情報を大分県警察がタイムリーに配信している「まもめーる」に登録しよう!

e@ansin-oita.jpに空メールを送信で登録!



県民会議加盟団体の活動

一般財団法人 大分県母子寡婦福祉連合会

問い合わせ先 097-552-3313

一般財団法人大分県母子寡婦福祉連合会は、県内の母子寡婦福祉団体の指導及び連絡調整を行い、ひとり親家庭及び寡婦の生活の安定と地位の向上を図ることにより、ひとり親家庭及び寡婦の福祉増進に資することを目的としています。自主事業として①会員増につながるような魅力ある団体づくりのための事業（母子部会や地域母子寡婦福祉会の活動が活性化する事業を行い、その内容により事業の一部を助成。）②広報紙発行③研修会の開催・参加（ひとり親家庭と寡婦のつどい及びクリスマス会、親子ふれあい旅行、九州地区や全国母子寡婦福祉研修大会への参加）④ひとり親家庭支援奨学金制度の選考事務⑤フードパントリー等を行っています。

受託事業として①大分県母子・父子福祉センター（一般相談、法律相談、教養教室の開催、貸室の利用受付や会計業務）②母子家庭等就業・自立支援センター（就業促進、就業相談、求人開拓、就業情報提供、自立支援プログラム策定）③県職員独身寮等運営（県職員独身者寮、県警独身者寮、県企業局長浜寮に寮母を派遣）を行っています。



親子ふれあい旅行



クリスマス会

大分県立芸術文化短期大学

問い合わせ先 097-545-0542

大分県立芸術文化短期大学は、芸術系と人文系の学科を併せ持つ、全国唯一の公立短期大学です。一昨年度創立60周年を迎え、卒業生は合計で17,000人を超えました。令和3年にキャンパス整備が完了し、グッドデザイン賞を受賞したキャンパスには、美術科、音楽科、国際総合学科、情報コミュニケーション学科の4学科に加え、造形専攻、音楽専攻の専攻科あわせて、約850名の学生が在籍しており、約半数は県外出身の学生です。

全学科の学生が履修できる「サービラーニング」は、大学で学んだ知識を地域で活かし、活動することで、学びの意義を体験することを目的としており、「七タブロードウェイ」や「県内清掃活動」等のプログラムを実施しています。地域への貢献だけでなく、“社会人力”の育成を目指す中で、県外出身の学生も大分県に愛着を持ち、県内で就職する人も少なくありません。

今後も地域に根ざした公立短期大学として、県内の芸術文化の振興及び地域社会の発展に貢献していきたいと考えます。



キャンパス整備



七タブロードウェイ

株式会社エフエム大分

問い合わせ先 097-534-8888

エフエム大分は、大分県内をサービスエリアとするFMラジオ放送局です。平成2年10月1日に開局。今年の10月で、開局34年目に入ります。

2019年より、夏休み、冬休み、春休みといった長期休暇の時期を中心に、小学生を対象とした「キッズ・アナウンスレッスン」という事業を展開しています。子供達に「伝える力」を付けてもらう事を目的に、子供達が自分で調べ、インタビューして、纏めて原稿を作り”言葉“で伝えます。

ラジオ番組の制作体験の他、子供達がレポーターとなって、カーディーラー、小売店、観光施設などを取材、発表はエフエム大分の本物の機材を使って収録します。最初は引っ込み思案だった子供も、次第に積極的に聞いたり、発表したりするようになり、保護者からは学校でも積極的に発言するようになったとのお声をいただいています。また本物の放送設備に触れる事でラジオ番組制作を体験できます。講師は、こどもアナウンス発声協会会員で、エフエム大分「Clover Radio Terrace」火曜日担当の西嶋しのぶです。

これからも子供達の「伝える力」向上のため活動していきます。



レッスン風景



スタジオ収録

市町村民会議の取組

宇佐市（宇佐市青少年健全育成市民会議）

宇佐市青少年健全育成市民会議は、市内7中学校ごとに組織された校区健全育成協議会で構成され、学校・家庭・地域が連携し、各地域での特色を活かした活動を実践する中で、児童生徒の登下校の見守りや世代間交流などの活動を行っています。

総会等の活動は、コロナ禍により、書面開催としていましたが、今年度は4年ぶりに対面形式で開催するとともに、大分県警察本部サイバー犯罪対策課から講師をお迎えして「青少年とSNSを取り巻く環境について」をテーマに講演をいただき、大分県内のSNSと青少年を取り巻く課題やSNSとのより良い関係構築等について、研修を実施しました。今後も、「地域の子どもは地域で育てる」を念頭に、本市の未来を担う青少年が健やかに成長することが出来るよう、各種活動に取り組むこととします。



地域での見守り活動



令和5年度総会・講演会

国東市（国東市青少年健全育成市民会議）

国東市青少年健全育成市民会議は、本部及び4つの支部（国見・国東・武蔵・安岐）で構成されています。本部総会で活動方針及び事業計画を決定し、支部ごとに青少年の健全育成に関する事業に取り組んでいます。

「啓発」と「体験」を活動の柱とし、毎年11月の「子ども・若者育成支援強化月間」では、各支部において街頭啓発に取り組むなど、市民への青少年の育成支援に関する啓発活動を行っています。

また、次世代を担う青少年が未来を主体的に切り開く「生きる力」を持った人間として成長することをめざし、市内小中学生を対象としたスキー体験教室の開催や、子ども会と連携してのレクリエーション大会の開催などの各種体験活動に取り組んでいます。



青少年健全育成市民会議総会



スキー体験教室

姫島村（姫島村青少年健全育成村民会議）

姫島村青少年健全育成村民会議では、姫島の自然や文化、地域や人とのふれあいなどを通じて青少年の心身ともに健やかに守り育てていくことを目的とし、学校、家庭、地域と連携し、体験学習等を実施しています。

今年度は、事業の一環として「花いっぱい運動」や「海岸清掃」を行い、参加した子ども達に村内の道路や道端の花壇が綺麗な理由、自分たちが泳ぐ海にゴミが流れ着いている現状についてしてもらい、地域の人が綺麗な姫島を維持していくためになにをしているのか、海をきれいにしていくために今後、どうしていけばよいかなどを考えてもらい、花植えやゴミ拾いを体験してもらいました。

今後も体験型事業を通して青少年の健全育成を学校、家庭、地域と連携しながら、取り組んでいきます。



総会の様子



海岸清掃の様子

お知らせ掲示板

自死遺児救済援護事業のお知らせ

大分県青少年育成県民会議では、自死遺児（自殺により親を失った児童生徒）を対象に入学・卒業祝い、修学旅行費補助等の援護活動を行っています。

対象は県内に居住し、県内の小・中学校又は支援学校の小・中学部に在籍する自死遺児です。亡くなった親の性別等に関係なく、また、生計を担う者であったかどうかは問いません。ただし、親の再婚や養子縁組等により新たに両親を得た者は除きます。

- 【援護（支給）内容】
- 新規自死遺児激励金（対象：新規申請者）
 - 入学・卒業祝い金（対象：小学1年、小学6年、中学3年）
 - 修学旅行助成金（対象：小学6年、中学2年）
 - 家族ふれあい旅行助成金（小学5年）
 - 文化事業・スポーツ観戦助成金（全員）
 - クリスマスプレゼント（全員）

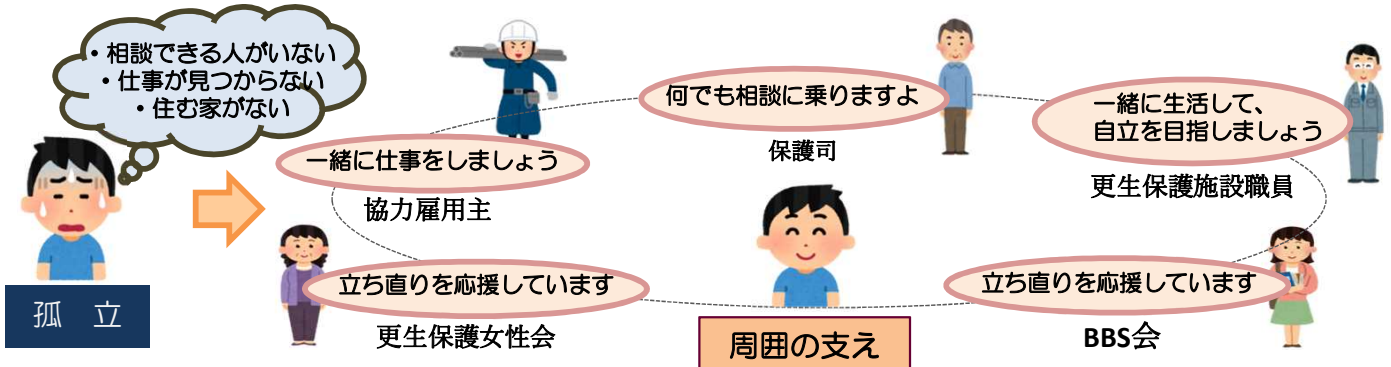
【支給実績】令和4年度 27人（20世帯）

新規申請などのお問合せは、下記までご連絡ください。

【問い合わせ先】大分県青少年育成県民会議事務局 Tel：097-506-3088

更生保護計画 更生保護ボランティア募集

様々な更生保護ボランティアが、それぞれの持ち味を生かしながら、連携して犯罪（非行）をした人の立ち直ろうとする気持ちを応援し、地域で支えています。



法務省では、保護司や協力雇用主等になってくださる方を探しています。興味がある方は、下記までお問い合わせ下さい。

【問い合わせ先】大分保護観察所企画調整課 Tel 097-532-2053

アカウント名：MOJ_HOGO 保護局X

【参考】法務省ホームページ http://www.moj.go.jp/hogo1/soumu/hogo_index.html



県民会議会員団体・賛助会員募集

大分県青少年育成県民会議は市町村民会議をはじめ企業、団体等99団体で構成されています。

県内の青少年が地域や社会の一員として主体的に未来を切り拓いていく資質を身につけ、自立できるよう、「非行・被害防止と有害環境対策の推進」、「普及開発と県民運動の推進」、「体験活動の推進」の3つを重点項目に掲げ、家庭・地域・学校が一体となった青少年健全育成県民運動の一層の推進を目指しています。そこで、この活動の輪をさらに広げるために、趣旨に賛同して一緒に活動に参加いただける企業や団体の皆様のご加入をお願いいたします。

参加申込書は、県民会議HPに掲載していますので、必要書類を記入のうえメール等でお申し込みください。（連絡をいただければ、郵送でもお送りします。）

詳しくは「大分県青少年育成県民会議」ホームページをご覧ください。

会費・・・正会員 年間3,000円 賛助会員 年間5,000円

